

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、横ばい圏内の動きとなった。

最終需要の動向をみると、公共投資および住宅投資は増加した。また、設備投資は堅調に推移しているほか、個人消費も底堅く推移している。

こうした中、生産は弱含みの動きとなった。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・増加

1月の公共工事請負金額は、国、県、市町村が増加したため、全体では前年を大きく上回った（前年比10.1倍）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2018年 3月	6月	9月	2018年 11月	12月	2019年 1月
山形県	▲27.1	▲27.6	▲17.6	▲1.4	81.5	10.1倍

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・堅調に推移

12月の建築着工床面積（民間非居住用）は、運輸、卸・小売などが増加したものの、製造業、医療・福祉などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲20.4%）。

12月短観における2018年度の設備投資計画（全産業）は、前回9月調査からわずかながら下方修正され、前年度を下回る計画（前年度比▲6.5%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2018年 3月	6月	9月	2018年 10月	11月	12月
山形県	3.2倍	▲29.9	10.9	▲30.8	54.0	▲20.4

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2018年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2016年度（実績）	2017年度（実績）	2018年度（計画）
全産業	24.6	47.5	▲6.5< ▲0.9>
製造業	28.8	70.7	▲21.1< ▲6.7>
非製造業	19.5	16.5	21.6< 7.5>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが減少したことから、全体では前年を下回った（前年比▲0.7%）。この間、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2018年 4～6月	7～9月	10～12月	2018年 10月	11月	12月
全店	▲3.0	▲1.4	▲3.8	▲5.7	▲3.8	▲2.3
既存店	▲1.2	▲0.2	▲2.4	▲4.4	▲2.4	▲0.7

＜資料＞経済産業省

1月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った（前年比▲2.9%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2018年 3月	6月	9月	2018年 11月	12月	2019年 1月
乗用車 合計	▲1.0	▲2.4	▲4.2	10.8	8.3	▲2.9
普通車	9.7	3.8	9.0	19.5	5.9	1.1
小型車	▲4.7	▲9.3	▲6.6	5.9	4.0	1.2
軽四輪	▲5.3	▲0.6	▲10.7	9.6	14.7	▲8.6

＜資料＞東北運輸局

(4) 住宅投資・・・増加

12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも増加し、全体では前年を上回った（前年比50.5%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2018年 3月	6月	9月	2018年 10月	11月	12月
山形県	72.6	4.2	▲6.7	0.7	8.1	50.5
持家	12.4	14.4	0.6	26.3	5.4	15.9
貸家	3.0倍	▲7.1	▲12.0	▲29.7	9.3	18.6
分譲	2.8倍	▲1.6	▲22.7	26.4	26.2	3.9倍

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・弱含み

11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比2.4%）。業種別には、プラスチック製品、金属製品など11業種が低下したものの、化学、はん用・生産用・業務用機械など11業種が上昇した。11月の在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った（前月比▲2.0%）。

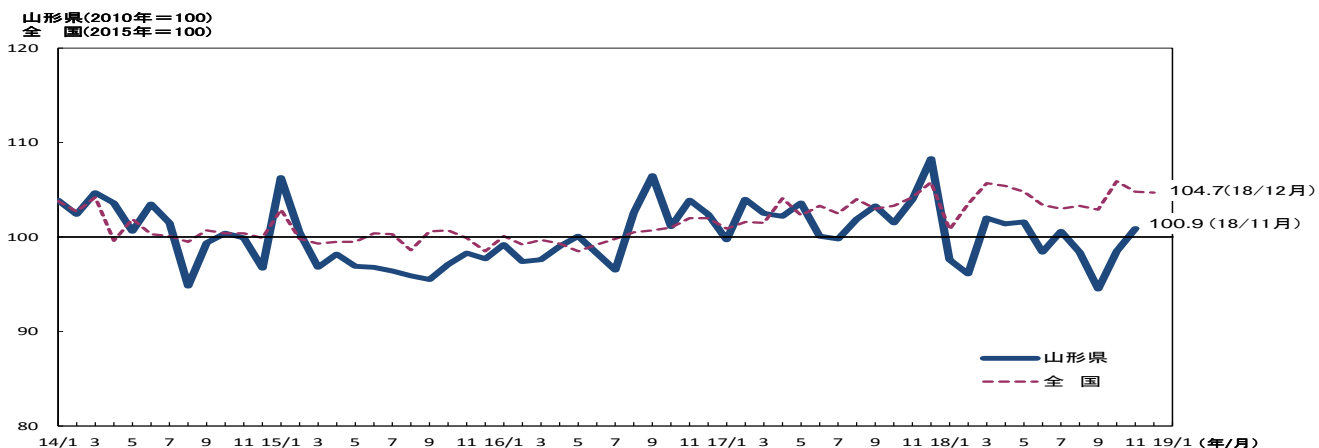
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 9月	10月	11月
生 産	季節調整済前月比%	4.1	6.1	▲3.1	▲4.0	4.2	p 2.4
	原指数前年比%	6.7	▲1.6	▲2.8	▲10.8	▲1.8	p ▲1.6
在 庫	季節調整済前月比%	▲0.5	▲7.1	▲0.7	2.6	▲1.3	p ▲2.0
	原指数前年比%	▲2.7	▲7.7	▲8.6	▲4.9	▲6.3	p ▲5.3

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.66倍となった。業種別の新規求人数は、卸・小売、サービスなどは減少したものの、医療・福祉、製造業などは増加した。12月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比1.9%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2018年 4～6月	7～9月	10～12月	2018年 10月	11月	12月
有効求人倍率	1.61	1.67	1.65	1.66	1.62	1.66
完全失業率	1.7	1.7	n.a.	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲5.1〉	〈▲2.2〉	〈1.9〉	〈1.7〉	〈1.5〉	〈1.9〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

11月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比2.2%）。業種別には、複合サービス、電気・ガスなどは前年を下回ったものの、教育・学習支援、卸・小売などは前年を上回った。

11月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲11.9%）。業種別には、宿泊・飲食サービス、複合サービスなどは前年を上回ったものの、卸・小売、建設などは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 9月	10月	11月
常用雇用指数	0.4	2.2	2.3	2.3	2.6	2.2
所定外労働時間	8.8	1.0	0.0	▲8.5	▲8.2	▲11.9

<資料>山形県企画振興部

11月の現金給与総額（名目賃金指数）は、建設、教育・学習支援などは増加したものの、卸・小売、宿泊・飲食サービスなどが減少したため、前年を下回った（前年比▲2.1%）。

11月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲2.5%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 9月	10月	11月
現金給与総額 (名目賃金指数)	3.0	0.7	▲0.4	▲2.7	▲3.2	▲2.1
きまって支給 する給与	1.7	0.9	0.9	▲2.3	▲2.2	▲2.5

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

1月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（2件）、負債総額（19.8億円）とも引き続き低水準（<前年同月>倒産件数1件、負債総額0.3億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2018年 3月	6月	9月	2018年 11月	12月	2019年 1月
件数	6	2	6	4	5	2
負債総額	4.1	0.9	13.0	1.4	1.8	19.8

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回る動き

12月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.7%)。費目の内訳をみると、被服及び履物などは前年を下回ったものの、光熱・水道、住居などは前年を上回った。

(図表13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2018年 3月	6月	9月	2018年 10月	11月	12月
総合	0.8	0.4	1.2	1.4	1.0	0.4
生鮮食品を除く総合	0.6	0.9	1.1	1.1	1.1	0.7

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

12月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比0.3%)。

12月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、企業向けを中心に前年を上回った(前年比0.3%)。

この間、12月の貸出金利は前月からわずかに低下した(前月比▲0.002%ポイント)。

(図表14) 預金、貸出金

%

山形県	2018年 3月	6月	9月	2018年 10月	11月	12月
実質預金+CD (末残前年比)	1.6	0.8	0.4	▲0.1	0.3	0.3
貸出金 (末残前年比)	1.9	1.2	0.5	0.6	0.3	0.3

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2018年 4~6月	7~9月	10~12月	2018年 10月	11月	12月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.012	▲0.005	▲0.003	0.001	▲0.002	▲0.002

12月末水準
1.021%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004